

事業所名

すこやか園

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

26 日

法人（事業所）理念	<p>本法人は次の基本理念に基づき、すべての障害を持つ人達の自立支援を行うとともに、日々の生活及び社会参加を通じて、社会的、経済的、文化的その他あらゆる分野の視点に立って生活が送れるようにつとめます。また、常に透明性を確保した運営を行い、更なる地域福祉の発展に貢献します。</p> <p>1障害の有無にかかわらず、個人の尊厳、権利、利益を保証し、平等の社会をめざします。  2個性を尊重し、ともに一人ひとりの主体性と可能性を追求します。  3一人ひとりの障害に配慮し、幸せと生きがいのある生活の実現につとめます。  4個人意向を十分に尊重し、行政、保健医療サービス、福祉サービス、教育、労働などの機関と連携を図ります。  5地域ニーズに応えられるよう、施設の機能を積極的に提供します。</p>						
	<p>・子どもが意欲をもって過ごして行ける療育を行うとともに、保護者が子どもの状態や特性を捉え、主体的に子育てして行けるよう支援します。</p>						
営業時間	9 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生面に向けた取り組みを定着させます。</li> <li>・保護者と連携し、健康面に配慮して活動を行います。</li> <li>・身辺自立に向け、各々のペースや状態に合わせてステップアップする方法を考えて進めていきます。小さな“できた！”を積み重ね、自己肯定感を高め、やる気を育てられるように配慮していきます。</li> <li>・登園から降園までの流れを同じにしたり、手順表で示すなど、見通しを持って安心して過ごせるように配慮する中で過ごします。</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業療法士を中心に運動面（粗大、微細）の活動を考えて実施していきます。</li> <li>・各々の感覚に合わせて、ステップアップしていけるように活動を設定していきます。様々な感覚や感触の教材を使います。</li> <li>・状態に合わせて椅子に補助を付けるなど良い姿勢で活動できるように配慮していきます。</li> <li>・各々が“楽しい”“出来た！”を感じられるよう、状態やペースに合わせた経験をしていきます。</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味を持つことを課題に取り入れながら、意欲的に活動に取り組めるように配慮する中で経験を増やします。</li> <li>・取り組む意欲がもちやすいように環境を設定する中で、経験を増やします。</li> <li>・本人の状態に合わせた課題を行えるように、本人の状態（本人の得手、不得手）を把握し、“出来た！”と感じる思いと自信が得られるように配慮し、ステップアップさせていきます。</li> <li>・本人の行動の背景を考え、必要な促しや声かけを精査して関わります。</li> </ul>					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語聴覚士を中心に、言語面へのアプローチをしていけるよう活動を考えて実施します。口を使う遊びや、模倣遊び等様々な遊びを取り入れます。</li> <li>・ことばの獲得やことばをつかったコミュニケーションをしていけるように、各々の興味やペースに合わせて対応します。</li> <li>・自分の要求や思いを相手に伝えたり、要求できるように、興味を持つことや楽しいと感じる経験を増やします。</li> <li>・本人の思いや言えると良いことばを大人が代弁して伝えます。</li> </ul>					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の好きなことを一緒にしてくれる職員に良いイメージを持てるように配慮し、人への意識（信頼等）を高められるように配慮します。その中で、相手に促されたことを取り入れる機会を作ります。</li> <li>・その場のルールを理解して動けるように、環境を整え、事前にルールを伝えたり、視覚的に見せて伝えるなど、本人に合わせた伝え方を考えて対応します。</li> <li>・自分に合わせてもらう環境の中で、相手やその場の状況への気づきや理解を出来るように配慮します。</li> </ul>					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談を中心に、必要に応じて電話でのやりとりや登降園時に話をし、家族のニーズの把握と助言等を行う。</li> <li>・療育の様子をマジックミラーから見る機会をつくり、様子や支援の状況を共有する機会をつくる。</li> <li>・保護者向けの講演会や各グループごとに懇談会を実施する。</li> </ul>		移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学に向けた市教育センターとの連携。</li> <li>・幼稚園等の入園時の連携（保護者のニーズを確認後）。</li> <li>・通園センター入園時の連携（保護者ニーズを確認後）。</li> </ul>		

地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所こども家庭相談課や地域の幼稚園・保育園・子ども園との連携をしていく。</li> <li>園敷地内で実施される“ふれあい福祉まつり”を通して、開かれた園として地域理解を増やす。</li> <li>地域の幼稚園・保育園・こども園の職員を対象に講演会を実施する。</li> </ul>	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々のOJT（嘱託医師からの助言、言語聴覚士や作業療法士からの助言や勉強会等の実施）。</li> <li>外部研修の参加。</li> <li>法人実施の会議への参加。</li> </ul>
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>お子さんが通常通りの流れで活動参加をすることができるよう、活動内容に季節行事内容を取り入れています。</li> </ul>		